



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日原爆先生の特別授業を受講して、改めて分かったことがあります。

それは、原爆のこわさです。まず原子爆弾投下都市の条件が直径5kmを超えること、平野であること、以前に空襲がなかったこと。この三つの条件を満たしていた京都、長崎、広島の一つ広島にリトルボーイが落ち、そのリトルボーイの中にふくまれている $\frac{1}{60}$ のウランで広島がめちゃくちゃになった話を聞いて、もともと原爆は、こわいと知っていたけど改めてこわいと分かりました。

このことから、絶対に戦争はしていと改めて分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を受講して、ぼくは、
当時多くの人が原爆により、深く悲しみ苦しんでい
て自分だけではない、人の命を助けた池田義三
さんがすごいと思えました。

原爆は熱線や衝撃波放射線など、
強力で広島市人口 35万人の 40% が亡くな
ったということに悲しかったです。

たった小さなウランというものが入っていて
広島市の人々を苦しめたことはおどろ
きました。

原爆が起きたことは糸色文寸に忘れて
はいけないことだと改めて気がきました。
そして、これから何十年もたつてぼく達は
戦争のことを次の世代に伝えなければな
りません。原爆先生で学んだことを伝えて
いきます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆について教えてもらい、3つのことが分かった。1つは「原爆が爆発した時どうなるか。」原爆は爆発したとき3つのものが出る。1つは熱線。私は原爆先生からこの熱線で灰や骨になってしまった人、やけどをした人が大勢いて、中には人間に見えない人もいたぐらいで救助が大変だったと聞いた。2つは衝撃波。原爆が爆発したことで衝撃波が出き、その衝撃波で建物、道路を全て壊してしまったと聞いた。3つは放射線。私は原爆が落とされた時は産まれていなかったが、2011年に「東日本大震災」が起きたため、放射線のは知っていた。原爆が落とされた時は放射線で「原爆病」になってしまった人も沢山いたと思う。2つは最後に話してくれた義三さんとの原爆資料館でのエピソード。私は義三さんが原爆で被害を受けた人々が歩いているところを人形にしたものを見て「きれいすぎる」といったと聞いた。見せてもらった写真の中の人形は人間とは思えないほど悲惨な姿だったのに対し、義三さんが「きれいすぎる」と言ったという事は実際はもっと悲惨な姿だったことが分かる。私は分かったこと以外にも驚いたこともある。1つは原爆が地面から600m上の辺りで爆発したため、人のいるところの温度が3000℃になったということ。地面から600m上の辺りで原爆が爆発するということは太陽(6000℃)がスカイツリーの第2展望台の高さ辺りにあるということだ。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
とても悲惨な情景が目につく。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

きょうの話を知っていてあつためて原爆のおそろ
しさが分かりました。授業、でつた原爆とは、
ぜんぜんちがつるのでつくりしました。

池田しん徳さんが体験した話を聞いて原爆
じやその後になんなことあり、なんなことをつた
のが分かりました。たとえば原爆後、広島に落
とされた場所には、かききの山でふだんなつ水が
入っているコンクリートでできた物の中には、人のた
いが入っていたという話です。

原爆が落とされたのは、戦争が原因だからこんな
ことが起きないように戦争はせつたいにしてはい
けないことだとあつためて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、社会の歴史で原爆投下についてたまたまわ
いなのと思っただけでした。でも、原爆先生の
話を聞いておそろしさを実感しました。
池田義三さんの話を聞いているときは、
その場面を想像しながら聞いていました。
義三さんは、17さいなのに兵隊に選ばれたのは、
かわいそうだと思いました。でも、原爆にまきこまれな
いでよかったと思います。

原子爆弾が爆発するときの球体は、地上から
600mもはなれているのに、3000℃もの熱が地上に
来るのがすごいと思いました。でも、中心の温度は
100万℃で、表面の温度は7000℃ということにおどろき
ました。太陽の表面の温度は6000℃なのに、もっと高い
温度でびっくりしました。

死者が14万人も出てしまって、大変だと思いました。
だから、原爆はつくらないで、そのこわさを、次の世代
にも伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、社会のべんきょうで、原子爆弾の勉強
をしていたのでどんなお話を聞けるんだろう？
と思っていました。ぼくが心に残ったお話は、
ウランのお話です。ゴルフボール1個分のウラン
が爆発する事で広島を焼きつくしたとい
うのがひじょうにおどろきました。あんな小さい物
で広島を焼きつくせるなんて、おそろしいと思いま
した。また怖いなと思った物もあります。それは
原子爆弾が爆発した時の温度です。中心の部
分はなんと100万度、そのまわりは7000度、そんな
熱いなんて、とても怖いと思った。そんな爆弾を落
とすなんて絶対にダメだと思いました。

今日の学習から爆弾は多くの人の命をうばう事が分か
りました。また、後世に戦争がどれだけひどい
ものか伝えていき、戦争のない平和な世の中にし
ていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この原爆先生の授業で原爆がどれくらい恐
ろしいかが改めて感じられました。原爆は落と
されるとなると、その表面温度が7000℃、^{中心の}中心が100万℃
更に原爆の真下の地面が3000℃ととても人間は生
きられない状況で、そこにいた人はみな一瞬で炭に
なってしまうと聞くと想像がでまないうほどおそろし
くなりました。原爆の被害を受けた人は、ひどい、かどれ
るほどのけかをしていると聞き、原爆先生(池田貞徳)
の父が体験したことの中に生きている人間とは思えな
い姿ということを知り、私は恐ろしく感じました。
戦争というのは残酷であり、何も罪のない人をけ
がやそれよりもひどい被害をさせる。原爆は、たくさん
の不幸にしたくまの人を殺す。今も原爆よりも
恐ろしい兵器を保有している国がたくさんある。今も
十分平和だが、そのような兵器を捨ててからこそ
本当の平和がおとれるのではないだろうか。本当の
平和を獲得するためにそれぞれの国が仲良くして
いくことが理想だと思う。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆というものは、放射線が、
飛び散るだけだと思っていました。
しかし、とても熱いことは知らなかった
のでおどろきました。また、いっしょんに
して人がとけてなくなってしまう様子は
想像できないくらいとてもこわいこと
だと思いました。

人が生きているのにも関わらず、体
が死んでいく状態はとても残さく
なことだと思いました。ウジ虫が
わいて、生きていこうとする希望を
食べられてしまう気がしました。

原爆投下の様子はテレビで見
たことがあります。でも原爆先生
の話でよりくわしく知ることができ
ました。原爆は、人に悲しみ、痛み、
恐怖を与え、希望をうばうもので
す。二度とこんな悲惨なことが起
きないことを願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の原爆先生のお話はとても怖かったです。原爆が落とされた後の人々の様子は少し考えただけで泣きそうになり、原爆の怖さがよくわかりました。

原爆が落とされた人がすわっていた所に黒いしみが残っていたのはしゅげき的でした。写は存在しない現象だと思、ていたのにこんな前にはそんなことができるなんて。ととてもおどろきました。

ウランが60kg積まれていたうちの1kgしか反応を起こさずに終わったと聞き技術が発展している今、原爆が使われたらと考えると絶対に原爆は使うべきではない。原爆はなくすべきではないと思いました。

広島市の人口35万人のうち約40%である14万人をた、た1kgのウランで殺した原爆はとても怖いと思いました。その原爆を落としたB29爆撃機の名前がチベ、ト大佐の娘の名前というのもまた怖かった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生の授業を受講して、原爆は
人々を悲しませ、苦しみに落とさせることなんだと思い
ました。社会の授業で原爆のことについて勉強
したけれど、社会の教科書には、本当に原爆が落
ちたときは、人々がどれくらい苦しみにまどわされた
のかはさっぱりとは分かりませんでした。でも、原爆先
生のお話を聞いて、そのころの生活などのくさくさ
しかったのがよく分かりました。「顔に大きなおけし」
や「皮ふにぶれるたびに、皮がずるとはみれる」と
聞いて、それを想像するだけでとても苦しんだんだと
感じました。また、もしこの場に自分がいたとしたら、
家族や親せきをなくして、大切な人もなくして、と
てもない悲しみに落ちていたと思います。また、
今でも、原爆のえいきょうで苦しんでいる人
たちが大勢いるので、その人たちを少しでも助け
てあげたいです。原爆でなくなった人たち、被害
にあつた人たちを忘れずに生きていきたい
です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の授業を受けて、原子爆弾はとても恐しいもの、そして、戦争は恐しいものであり、が、それはいけないものだと改めて感じた。授業の話の中で最も心に刻まれたのは、兵隊達が「兵隊さん、助けて…、助けて…」と地獄の底から泣き叫ぶ被爆者を助けようとしたところだ。助けようとしたとき、被爆者の皮膚がとれるという残酷なものではあったが、そこからまた、原爆の恐しさを伝えることができた。また、死体を燃やすということも心に刻まれた。もしも、死体の中に家族、または知人がいたら…。そのようなことを考えるととても胸が熱くなった。兵隊達は苦しい思いをしながら死体を燃やしたのだらう、そんな状況が考えられた。私は被爆者でもないし、その時代を生きていながらだから、本当の苦しみは分からない。けれど、原爆体験者から話を聞いて、想像し、その恐しさを後世に伝えていくということまでできる。絶対に原爆の恐しさ、戦争の恐しさを歴史から消してはならない。また、最近、世界でテロやミサイルを発射したり、犯罪をおかしたりと様々なことがおきている。このような状況の中で日本は世界に平和をうたえていくべきである。国だけでなく、世界全体が平和であるべきだ。二度と原爆のときのように多くの命を失わないように。2020年、東京オリンピック、パラリンピックで世界が、そして人々が平和であり、安全で安心な生活が送られるようになってほしいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の原爆先生の特別授業を受講して、戦争はいけないものだと改めて思いました。私は原爆資料館に行き原爆の被害を受けた人を再現した人形を見たことがあります。しかしあの人形がきれいな物で聞いて鳥肌が立ちました。原爆は1/60 kgしか燃焼されていないものと同じ60 kg 燃焼したらどうなるのだろうと思いました。

その戦争が終わってから70年経た今、私たちは原子力爆弾の1000倍の力を持つ核兵器をどうにかしなければならぬと思います。これからの日本を世界を平和にするために、核の処理を優先し、全ての国が戦争をしないようになればいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回のお話で、改めて原爆のこわさを感じました。今までの歴史の学習の中でも、原爆について学習しましたが、これほどの被害が出ていたとは知りませんでした。1945年の8月6日、広島に原爆が落とされた時、当時の広島市の人口の40%、14万人もの方が亡くなられたそうです。私は、ショックを受けました。それだけではありません。広島に投下された原爆の「リトルボーイ」が爆発して拡張し、スカイツリーの第二展望台位の高さで表面温度7000℃の球体になったそうです。表面温度7000℃は太陽よりも熱いです。そんなものが、「今、江東区に落ちてきたら…」と考えると、とてもおそろしいです。だから、もう、そんなことは二度と起こしてほしくないと思いました。しかし、今ではその約1000倍以上もの爆弾もつくれると知り、私は、ますますまよわさを感じました。そのためには私は、一人一人が平和な世界にする、という気持ちを持ち、「もう戦争もしないで、このような原爆も落とさない」ということを忘れないことが大切だと思います。そして、平和な世界にな、ていったらいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは昔日本に投下された原子爆のこ
とについて知りました。

ぼくがおどろいたのは、原子爆弾の強力
な爆風や熱線、衝撃波です。広島に投下
されたリトルボーイは、312mで約4t、高度9632m
から4km先の相生橋に向けて落ちて行きました。
そして高さ600m、直径200mで大きな爆発を起こ
しました。中心の温度は100万℃、外の温度は7000℃で
す。なんと太陽は6000℃なので、地上600mに落ち
てきた原子爆弾は、太陽ほどの熱を出して
きたことと同じに感じます。

広島の人口は35万人、被爆者は24万人その中
で死亡していった人は14万人、これは全体
の人口の40%、5人に2人の割合です。これからぼく達は
この話をわすれず、後の人達に教え、もうこの
ようなことは起きないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受けて、2つの事を思いました。まず、1つめは、日本に落とされた原子爆弾はしても強かだったんだということですね。そしてつぎは、速さで地面にとう達し、地面に着いた時の温度は3000℃という考えられないくらいにまたさんこくな兵器だと思いました。また、1kgのウランだけでそのような強かな攻撃ができる兵器を作ってしまった人間はしてもさんこくな生き物だと思いました。2つめは、今戦争のない時代に生まれた自分はしても幸せだということですね。実際に原子爆弾のおそろしさを知る人の話を聞いて、且かけてあげたいけど助けられない無念な気持ちや、自分は運良く生きたけど、他の人達は、川に飛びこんだりして、必死に生きようとして死んでしまったのを見た複雑な気持ちや伝わってきました。これからは、このようにつらい思いをした人のことも忘れずに生きていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、原爆先生の特別授業を受けて、二度とこんな戦争を引き起こしてはならない、という事で二度と原爆を使用してはならないということを考えた。なぜなら、この中で全てを消し今もなお被爆者を苦しめていることを知ったからだ。

そして、その原因の原子爆弾を広島に落とした飛行機の名前は、その飛行機に乗っていた人の母親の名前だったということを知り、そのパイロットは、戦場に飛び立つ時に母のことを思っていたのだろうかと思つて、やはり戦争は二度と引き起こしてはならないと思つた。

そして、この思いを後世に伝えていくことが重要だと思つた。原爆ドームが世界遺産になつたように、伝えていくことが「自分にできることだ」と思つた。

そのためにも、一度広島に行つて、原爆ドームを見て来る必要がある。そして

なぜなら、それも、今から自分が「できる事の一つだ」とは、強くは考えたからだ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

改めて原爆のおそろしさが分かった。
原爆の実体験者の方の話聞くこと
で原爆がどれほどこわいものか、人
々にどんな危害を加えるかが分かった。
広島などに落ちた原子爆弾には、
ウランという物質がふくまれていた。そのウラ
ンが爆発したのは $\frac{1}{60}$ だ。しかし、その $\frac{1}{60}$ が爆
発しただけでも、広島が破壊された。
もしそのウランが $\frac{1}{60}$ ではなく、全て爆発し
ていたら町ではなく、地形が変わってしまう
と思った。さらに、原爆のおそろしさを来世
に伝えられる人もいなくなってしまうと思っ
た。原爆を落としたのはチベットたいさ、チ
ベットたいさが乗っていたエノラガイとい
う飛行機は、チベットたいさのお母さん
の名前というエピソードも知った。原爆
の話だけを聞いてじぶんこわかったが、
実際に起きたことを見て、しかり受け止
めた方がいいと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の特別授業を通じて様々な事を学びました。その日、たった一つの物であらゆる人が苦しみ、そして今の時代までさかのほっても被爆した方々が原爆の病で苦しんで日々を過ごしている。遠い七十年。されど七十年。しかし言葉で時代を時代として流してはならないのだ。あの事件の犯人は誰だ、計画をしたのは誰だ、こんな世界にたたき落としたのは誰だ、といつまでもせめている人しは仕方が無い。平和馬鹿になるのも馬太目だ。しかし過去のあやまち、恐い過去をもう一度く返さないうために出来る事は何か、その答えは今居る私達がその頭で考え、それをおかさないよう未来を決めてゆかなければならないと考えました。誠に勝手な考えではありますがこれが今回の学習で考えた事です。大事な御時間をあけて私達に貴重な時間を使っていただきありがとうございます。これで以上です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生の授業を受けて、広島・長崎で起きた原爆投下についてくわしく分かりました。原爆には、熱線、衝撃波、放射線を持っていて、爆発したのは地上から600m上で、直径200mで中心温度は100万℃、外周温度が7000℃、地上の温度が3000℃になるほどの高熱の熱線が出ていることが分かった。鉄が溶けるのは1500℃以上の高温で、原爆が投下された時は倍以上の高温で、体内の水分が一気に蒸発して炭になって、衝撃波によってくたけたり、白骨死体になっていたのが分かった。もし生きていたとしても、その後にくる強力な熱風がきて、死んでしまうことが分かった。さらに、放射線によって原爆病にかかたりして、今でも苦しんでいる人がいると分かった。原爆の原料はウランという成分で、原爆が爆発した時は60kgの内、1kgしか爆発していなくて、その時の技術では全ては爆発できなかったらしい。しかし、1kgはゴルフボールの大きさで、ゴルフボールと同じ大きさのウランが広島市を爆発したんだと思う。そして、この一発で、被爆者数24万人、死者数が14万人で、死亡率が40%、つまり5人に2人が死んだことが分かった。この授業を受けて、もうこのような事は二度としたくないと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は特別授業を受講して改めて戦争は怖いと
知りました。池田先生は原子爆弾の恐ろしさを教
それに関与した兵隊達の心情を教えてくださいました。
話を聞いて特に心に残った事があります。それは原子爆弾の
爆発時、約3.12mだった原爆が200mもの大きさになり、中心部
が100万℃、そしてまわりが7000℃に達した事です。太陽は
約6000℃なので太陽よりも1000℃も熱い物が地上600m
の所にできるという事になります。そうすると、人間もふくめて
色々な物が一瞬のうちに灰になってしまいます。その事を聞いて
私は背中が凍りつきました。また、火傷を負い、皮膚がはがれ
落ちる人達も沢山いたといいます。その中で兵隊達は、怪我を
して動けなくなっている人達を見ながら、何もできなかったと言っ
ていました。そのくらい被害の受けようが大きかったと思います。
しかし自分の頭だけでは想像ができません。その戦争の恐ろしさを
池田先生が子供の私達にも分かりやすく教えてくださいました。とても
感謝しています。池田先生のお父さんも池田先生もとても勇気を
振りしめて教えてくださいました。だから私も戦争の恐ろし
さを忘れずに、今の平和の暮らしにありがたみを感じて生きて
いきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生に来ていただき様々なことを学びました。

私は、原子爆弾について、原爆先生と一緒に勉強していき一番初めに、『7000℃の少年』と書いてあり最初は「なにこれ?」、「どういう意味」と思いました。ですが、原爆先生のお父さんである、池田義三の経験談を聞いて意味が分かりました。そして、一番心に残った言葉は、平和記念公園に行き、展示物を見ている時義三さんが焼けたために、皮膚が指先から、ペロンとぶら下がっている女の人の人形を見た時にいった、『きれいすぎる』という言葉です。その光景は人形では表せないほどの悲惨のものだと思っています。私は、原爆先生の語で、そう思うとしても、生で見るとはちがうと思います。私が一番ナルホド、と思ったのは、爆弾の被害についてです。原子爆弾は、主に熱線・衝撃波・放射線の3つがあります。まず熱線で体中の水分をとり、衝撃波でゴタゴタにするというものです。座っている人のカサが黒いシミとなっていて残っていたりしておどろきました。特に、衝撃波の速さは毎秒440m(音速は340m/秒)など、様々です。

私は、原爆先生が最も伝えたかったのは、原爆の被害のことを、いつでも頭の中に入れておくということです。広島や長崎での出来事は決して、許していいというわけではなく、なにも思わないで、そのことを、忘れないことが大事だと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、今回の授業で、改めて原爆の恐ろしさを知りました。助けようとして、また苦しんでしまう話を聞いた時は、自分がその時助けている立場だったらとこをつらいと思いました。助けたいのに、助けられずよけいに苦しめてしまうのは、自分が助けるのがつらいと思いました。そして、話を聞いていくと、原爆の熱線で、人間の内臓の水分まで蒸発してしまうという話を聞いて、人は、なぜこんな恐ろしいものを作れたのかと思いました。私は、人間が発達してきた頭脳をこんな風に使いたくないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を聞いて強い恐怖と衝撃を受けた。実際に体験をした人が近くにいる人が話すからこそあじわうことができる社会の授業では感じるこのできない緊張感が感じられた。原爆にまつわる様々なことをくわしく知ることができた。

リトルボーイにつままれていたウラこの量は60kg。その中の1kgが燃焼されたことを知った。私はたったそれしか燃焼していないのにあれだけの被害がでた。もし60kgも燃焼していたとしたらどうなっていただろうか考えた。広島以外の地域にも被害がでていいるかもしれない。いや、間違いないでいるだろう。人々のつらく、悲しそうな表情が脳裏にうかんだ。やけどをおって苦しんでいる人々、荒れはてた土地。不気味な原爆雲。これを見て人はまずなにを思っただろう。私は「こわい」と思っただろう。このような思いをしなかったためにもさせないためにも、二度戦争はや、てはいけないと私は改めて心の中で強く思った。戦争をやっても幸せな気持ちになる人はいないだろう。今の私たちが「これだ」は平和で、幸せに住ごせてまたかを強く感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話しを聞いて原爆
でとてもこわいなと思いました
そして、原爆は、頭上から600m位
でばくはつし、原爆が爆発し、
そのまわりが7000℃、爆心直下3000℃
で、衝撃波の速さは(音速は34
0m/秒)毎秒440mです、音速をこ
える早さときき、原爆を受けた人
がかわいそうと思ったし、こんなの
うけたくないと思った。また、
戦争は、ぜったいにや、てはい
けないと、あらためて思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原火暴先生の話を聞いて心がいたみました。また、原火暴をおとす優先の場所としては、一番目は広島で、二番目は小倉で、三番目は長崎でした。もし広島の大候が悪ければ、小倉におとし、もし小倉の大候が悪ければ長崎におとす予定でした。しかし、原火暴をおとすころには、他に3県が上がったので、1つ目は横兵、新潟、京都でした。その中でもアメリカのきんじたちは京都を一番おしていたのでした。京都は人間にと、この文化財だからといっておとすのをやめたので、

原爆の名前は「リトルボーイ」です。リトルボーイは47で、上空9632m、火暴心地から4kmからエラゲイからおとしほつ線をおかきながら落ちていきました。

また、原子火暴弾投下都市の条件は①直径5km超える②平里予であること③空気がなかったという条件でした。また、ばくしん直下3~4000℃でした。原子火暴たんのねんじした。原子(ウラン)は60kgのうち1kgがねんじしました。牛ムはこんな事があつたのでもう二度と戦争はおこしてはいけないんだと改めて分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生がきてくれて、原爆の
こわさが分かりました。ほくもほく
ぶつかんにいってもっと勉強
したいと思いました。原爆先生が
きいてくれてキレイさると言、たの
びにうにのこりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は、原爆先生の話を聞いて、私だったらと
考えてみました。もし、池田さんのように広島
にいて人々をたすけろとしたらし、かりと重か
けないと思います。なぜなら、人々がたくせん
「兵隊さん、たすけて」とめんなが、ふらふら
と近づいて来たらあせ、てしまうと思っ
ます。そして、原爆を体験した人々は、とても
びびりしたと思います。なぜなら、いきなり
お家などにばくだんが落ちてきたら、たぶん
びびりしてないてしまうと思います。水に、ひ
なんしてもばくだんが落ちたしゃんかんね、
どうぶろにな、てしま、てやけどをした人も
いるそうです。でも郵便局のトイレにいた人
がたすか、たのですごいと思われました。
以前、社会で広島の前爆の勉強をしたの
ですが、そのときでは分からない人々の気
持ちが分かり良か、たなあと思われました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆を落とす場所が小倉、
 広島長崎、横浜、京都の可能小生が
 あった。また天気が快晴だったので広島
 に落とされたことを始めて知た。また、
 原子爆弾投下都市の条件は、直径5
 kmを超える、平野部であること、空し
 くなかったことという条件があ
 ったことを知った。原爆で使われた
 爆弾のほ直径200mで、中心部分が
 100万と一番外の部分でも70000の
 巨大な物体が秒速440mで落下して
 くることがびっくりだし怖いと思った。
 この、原爆先生の話を聞いて思っ
 たのは悲しい。すごくすごく悲しい。
 本当にお亡くなりになられた方、今も放
 射能の病気と戦っている方に対し
 て本当に、本当に悲しい気持ちで、残念
 な気持ちだと改めて思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの授業を受けておどろいた事が三つあります。一つ目は原爆のいけくです。原爆は人を落かす、ほど熱線があるの
で、とてもこわいと思いました。二つ目は広島市の死亡率です。広島市の人口は35万人ぐらいだそう
です。原爆の被害者数は24万人です。死者数は14万になっています。死亡率は40%、とてもおどろきました。三つ目はウジ虫です。原爆で死んだ人の体からでてくると聞き、おどろきました。また死んでない人にも出たそうです。ぼくが原爆について思った事は、罪のない人が多く死んでひどいと思いました。だから、こういう事がなくなってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、あまり戦争について知りませんでした。けれど今日の原爆先生のお話を聞いて戦争について実感しました。

ぼくは、火害にあつた人たちの事を、そう想像すると、とてもむねがくるしくなります。熱湯でひるがとけたり、体の水分がいっしょに蒸発する様子を、聞いてとても怖く感じました。そして生きている人のきず口はうづむしがいいるとはとても気分が悪くなりました。でもほうたいをほうす時にくわして行してもながずにかましたのがつらいと思つた。

ぼくは今この時代に生まれてよかったと思つました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業で原爆のことを沢山知ることができました。原爆先生の話を聞いて被災地がどれほど残酷な所だったかや原爆でどれほどの被害を受けたのかが分かりました。また原爆の熱線が7000℃ということや広島の人口の40%がなくなるなど原爆の恐ろしさが分かりました。僕はこのようなことは絶対にあてはならないことだと思いました。そのためには人々の努力が大切だと思いました。例えはもう二度と戦争をせずに平和な世の中にすることや原爆があった8月9日、8月15日を忘れないことなど色々なことがあります。今は平和ですがこのようなことにはならないようにしたいです。またこの原爆で沢山の人が亡くなり被害があったということを覚えておくことも大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/1

私は原爆のことをあまり考えず生きてまいりましたが、今回の授業で原爆の事を初めて考えました。そして私は原爆が悲惨で想像を超えるおそろしさだということを知りました。なぜなら、たったウラン1kgのゴルフボールくらいのもので、広島を灰色にしたと聞いたからです。

途中池田さんは爆弾が落ちるのを語ってくれました。私はすごくびっくりしました。実際におこったこととは、とびっくりするだろう。それよりもびっくりするひまがないうらうと思いました。

この話で一番びっくりしたのは太陽でも6000°なのに、7000°が広島の上にあったことです。私はこの世で太陽が一番熱いと思えてたからです。

最後に私はもうこのようなことが一切起こらない平和な世界を願います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生の話を聞いて、昔の広島市についてくわしく分かった。また、その様子もくわしく分かった。爆発した瞬間は、バンとすさまじいほど大きな爆発音を聞いて、とてもおどろきました。現地にいた人にとっては、それより倍くらいの爆発音だったと思う。それに何通かの伝令がきて、その命令にしたがわないといけないのはきついなと思う。しかし、村が故郷に帰れる伝令がきたら、それはうれしいと思う。また、「死亡率40%」は半分近くあり、自分でもこわさを感じた。そして、原子爆弾の中心が1万度というのが、しゅうけきた。また、太陽より熱いのがこわいなと思った。すく泣けてくる話でした。今日は、とてもわさきで、くどきで、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、私は、これ以上、科学が進んで

ほしくなっていました。なぜかというと、

昔に作られた原子爆弾でどれくらいのかげは、

き、と今では地球まるまるのきとは、比べるくらい

科学の力があると思うからです。

もしも世界征服を企む人々がいる、その人々が、

その科学能力を手に入れた場合すごくあつな

く思うからです。

原爆先生が教えてくれた色々な話について私は、

昔には人々が何千万人も死んでいるけれど、その人達の

おかげで今の時代があるんだなと思いました。

教科書では読み取れない事を色々教えてくれて

どうもありがとうございます。とても勉強に

なりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、今回原爆先生の特別授業を受講して、想像をはるかにこえる事実を知りました。それは、「こわい」や「おそろしい」では言い表す事が出来ないほどのものでした。

特に、私は「人間が人間ではないものだった」という言葉が頭からはなれませんでした。これは、本当に、本当に見ていてつらい事だと思っています。これを実際に見たり体験したりした人の気持ちはどうだ、たのか、私には想像すら出来ません。

私は、今回の授業で、教科書だけでは知る事が出来なかった事をたくさん知る事ができ、改めて原爆や戦争にはいけなさと感じる事が出来ました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

池田先生へ、

この前は、池田義三さんが体馬灸された、広島原爆の話をもしてくださり、ありがとうございました。

原爆によって全てが気体になり、人間は、やけどによって、皮膚がはがれるのは、おそろしいことだと思いました。

原子爆弾が、太陽以上に熱いとは思いませんでした。

ウランが爆発したのは、1kgでしたが、全体の60kgが爆発していたら、とんでもないことになってた、と思いました。

広島は、広島県産業奨励館といふ文化財みたいな物があったので、その近くに投下するのは、ひどいと思いました。

広島市の人口35万人のうち、24万人のほとんどの人が被爆したということですが、悲しいことだと思いました。

これからは、このような怖いことのない世の中になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今日の授業で貴重な体験ができたと思います。原爆については、学校の社会科で学習したけれど、原爆先生の話してくれた言葉のなかには学校では学べなかった原爆の真実のようなものがありました。その話の内容のなかには人間が実際に起こしたとは思えない残酷な出来事もあり、今まで思っていた以上に戦争を起してはいけないという考えが深まりました。

また、原爆先生が今まで六百枚を焼くための戦争の恐ろしさとその全貌を伝えるためだと私は感じました。なのでこの貴重な体験を活かして戦争をしてはいけないという考えをこれからの未来にも繋げていくのが私達の使命だと思います。そのためには現実が目を背けず本当に過去に起きた出来事として直視して、戦争を起してはダメだと訴えていくのが大切だと私は思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の特別授業を受講して、原爆は恐ろしいものだということが改めて分かった。特に母と子が白い光が出た瞬間かん蒸発して消えてしまった話や、階段に座っていた人がいっしょに消え、そこには黒いあとしか残っていない話、池田義三さんが見た、原爆が投下されたあとの人々の様子の話を聞いてて背中がゾクッとした。なぜアメリカはこんな悲惨な事をしたのか、私にはさっぱり分からない。「戦争を止めるため」とアメリカは今でも言っているらしいが、戦争を止める方法はもっとあったと思う。また、原爆を落とす都市で京都が一番強く推されたが、人間としての重要な文化財があるからとか、日本人の感情として、という理由で、候補からはずされた話が私の中で印象に残っている。確かに京都には文化財がたくさんあるし、昔ながらの街を壊してほしくない。しかし、だから広島や長崎に落として良い、というわけではないと思う。広島や長崎には文化財があまり無いとしても、たくさんの命がそこにあったのだ。世界中のどこでも、原爆は絶対に落ちてほしくない。原爆はこの世界にはいないと、私は考える。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆先生の話を聞き改めて分かった事があります。それは、原爆の恐ろしさです。この授業を受けるまで原爆について深く考えたことはありませんでした。原爆についてよく考えても昔の事だから知っても意味がない」と思っていました。しかし、原爆先生の授業を受けて、その考えはガラリと変わりました。「世界で初めて原爆を落とされた国として原爆の恐ろしさを他の人に伝えたい」というような思いに変わりました。「死亡率40%」この広島に落とされたたった1発の原子爆弾でおよそ14万人もの尊い命が失われました。しかも「原爆病」で苦しんでいる人が今もなおいます。

「1kg」これは「リトルボーイ」のウラニウム60kgのうちに燃えた重さ、ゴルフボール1個の大きさです。これが燃えただけで、広島市が消えました。60kg全てが燃焼したら、広島、いや日本が消えていたと思いました。

現在、この原子爆弾「リトルボーイ」のおよそ1000倍の威力を持った核兵器を世界各国が持っています。「このまいくと地球がほろんでしまうのでは」と私は思っています。誰もが笑い合える兵器なんてものは無くなる平和な社会になってほしいと私は願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

前まで戦争は兵隊と兵隊との戦いと思
ていましたが、今回の話を聞いて戦争は民
衆も巻き込む残酷な戦いという思いに変
わりました。先生の話を聞いて初耳のことや
知っていたけれど、くわしく知らなかつたことも色々
知れて良かったです。そして、題名の「7000℃の
少年の意味が分かりました。7000℃は、爆発
の表面温度です。これが太陽の表面より上とい
うのは、驚きを隠せませんでした。なぜなら、太陽の
表面温度を兵器が超えたからです。そして、
ぼくは原爆先生の父のようなことになつたら人々
の遺体など絶対見てられません。少しでも見
たらおうとを直くしてしまうと思いました。
戦争しないのはもちろん、そして戦争しないため
に今私たちができること。それを今、考えなければ
ならないことでしょう。ぼくは戦争をしない
という思いを次の世代に伝えていかなければなら
ないと考えています。今回の学習で「生きる」と
いうことを少し分かつた気がしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業を受けて、いままで知らなかつた原爆のことがよく分かりました。

特に、なぜ広島に原爆におちたのかわかりません。そのときに広島にいた人はすごいわいそうだと思います。原爆の爆発にまきこまれて全身に大やけどを負うなんて想像つきません。ものすごくいたかただと思います。あと、原爆は地上の600m上で太陽の表面の温度をこえて7000℃になる聞いてびっくりしました。

あと、ところどころに話しているものの動きだったり、原爆のおちる音などを表現しているところがとても分かりやすかったです。

今回改めて、戦争はしてはいけななと思います。これからはこのようなことがないように願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、僕は原爆は思っていた以上に
 おそろしいものだと思った。今まで、原爆投下で多く
 の人が亡くなったとしか認識して、なかたか、今回の授業で
 くわしく知れた。義三さん達 2班はドラム管があり無事な
 けれど、広島市の人達はあんな人は何も防ぐものもなく
 亡くなっていたり、他の人達も3000°のやけどを負って
 亡くなっていたり、さらに、川に飛びこんだら、かなり
 痛そうしたりと、とても残酷な亡くなり方をしていた。
 このことから僕は、原子爆弾をはじめとした『核兵器』
 は、なくなるべきだと思った。現代では広島原子爆弾
 の千倍もの、多くの核兵器を持っている国がほとんど
 だから、このような残酷な亡くなり方をした人達を
 出さないためには今の日本のように戦争をしないと
 大きな国はちがうべきだと思う。今の日本は憲法に
 よって戦争をしないこと決められているが、もしその憲法
 『集団的自衛権』をかえるという意見には反対すべきだと
 僕は思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

単純に原爆はすごいと思った。表面温度は太陽よりかはるかに高い物もある上、ウランを小さくしがつがっていきなすのた。広島の人口の半が亡くなってしまった。5と聞いてもあまり多いと思わなすかもしれないが使用したウランはゴルフボールくらい。のた想像できるだろう。ゴルフボールが14万人近くの人命をうばうだ。なす。今もその軽さを実感できていなす。言より実感できるような物ではない。とっせん太陽よりすごいものが上空600mにあられれたら言葉で表せない辛さだと思ふ。絶対に感じるコこのてきない辛さだ。なす。10万人は爆発の被害をうけなかつたが放射線による被害もうけた人がいる。原爆の恐しさは爆発だけではないと。なす。原爆はすべてが恐しい兵器だ。なす。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を受けて改めて原爆の恐ろしさがいわかりました。私は昔広島県に住んでいました。なので、1度原爆ドームや平和記念公園、記念館に行、た事があります。その時は幼か、たためあまり原爆について理解をしていなか、たのでこのように小学校に来ていたとき原爆についてその場にいた人たちの気持ちなどで矢口れてよか、たです。

そして私が授業をおえて、> 思、た事があります。それは「こんな戦争は反対だ」という事です。みんなにたくさん被害者が出てしま、たし、絶対にこの先、ては、いけな、たと思、ました。そのためにも今日聞、いた事を私たちが、他の人に伝え原爆について知、てもら、た戦争に1歩でも近、つ、か、た、いように私たちも努力をした、たと思、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆はおそろしい」これは僕が原爆先生の言葉を聞いて改めて実感したことだ。最近では北朝鮮魚羊のミサイルのニュースなどがあるにわりと思う。もう戦争はしてほくない。また、憲法改正のニュースもあり、世界が戦争に一步一步近づいている気がする。原爆先生の話しに、ひよかにはかれ落ちるという言葉があったが想像が出来ない。今の日本ではあつない。また、人が一瞬でなくなるというのにもわり想像が出来ない。その人はどんなことを考えていたのだろうか。また、原爆先生のお父さんは奇跡的に助かって本当に良かったと思う。これからは、戦争は絶対にしてはくれないと強く、深く心に刻みたりと。そして次は木たちが戦争をおこさない。平和な世の中を築くとともに、次の世代、次の次の世代にも戦争のおそろしさを伝えていかなければならないと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今まで、広島・長崎の原爆に対して、「恐ろしい」、「危険」などと、様々な感情をいっていたが、それらは、全て、深みのない単調な感情・思った。今回の「原爆先生」を受講して、それらの思いは、ガラリと変わった。「恐ろしい」、「危険」などのような言葉では表すことのできないぐらい、残酷なものだ、だからだ。

特に残酷なのは、原爆の殺傷能力だ。原爆が爆発した地点の直下では、温度が3000℃にも達した。そのため、人は、跡形もなく、溶けてしまった。また、原爆によ、てすぐには亡くならなか、た人も、皮膚がとけて、指先にたれていったそうだ。僕には、そのようなことは、あまりにも残酷すぎて、想像もつかないような状態だ。しかし、たとえどんな残酷なことだ、たとしても、広島・長崎の原爆投下のことは、生涯絶対に忘れてはいけな、いのだと、僕は思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この授業で原爆の恐ろしさを知りました。

特に5人に2人も広島の人々が原爆によって亡くなっていることを聞いてとても驚きました。

また、ウランという物質が1kg、ゴルフボール1個分の大きさで燃え尽すと広島が一瞬にして何も無くなってしまうなんてどれだけのすごい威力だなと思いました。

池田真徳さんの父の池田義三さんが体験した事は私が聞いたとき私は「トリハタ」が立ちました。死んだ人をかっぐなんて自分には絶対できません。

今回の授業は自分のためになったと思います。同じ日本人としてこのような出来事があると覚えておいた方が良かったかなと思いました。

池田真徳さんのお話の中の音を入れてふんいきを作ったり実際に体をつかってくわしく私たちにおしえてくれたので感謝しています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田真徳先生、今回、授業をしていただき、
ありがとうございました。とてもじつとした話で、
勉強になりました。特に心に残った話は、
池田先生の父、義三さんの体験談です。うで
や、足など、体中にやけどを負っている被爆者
たちを助けようとして、引っ張ったのに、皮や肉が
もぎ取れてしまったという話には思わず、鳥肌
がたち、身ぶるいもしたほどでしたが同時に、
原爆の恐しさも実感しました。また、原爆がふくれ
あがった時の中心温度が100万℃という、極めて熱
い温度で、表面温度が7000℃と、太陽よりも熱か
らしいこと、初めて知ったので、勉強になりま
した。今日この話を聞いて、原爆、その他核兵器
は、持っても、使っても、作ってもいけないことを学びまし
た。このことを、将来、ぼくたちの子孫に伝え継い
で行かなければならないと思いました。そし
て、戦争のない平和な世界を、100年先も、1000
年先も、10000年先までも、築いていかなければならな
いと思いました。本日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆について考えておれば、多くの死者が出てしまった。

土地が焼けて辺りを見回すと火事だらけなどしか原爆先生の話を聞く前は思っていました。しかし、原爆先生の話を聞いたら、死亡率が40%で5人に2人が死せしてしまつたこと、土地が焼けてしまつただけではなく、約スカイツリーの高さで太陽の表面(6000℃)を上回る7000℃にしてしまうリトルボールという原爆が落とされたことが分かりました。また、衝撃波の速さが音速(340m/秒)よりも速い毎秒440mであらうる建物を粉々にすることも分かりました。

ウランが、60Kgのうち1kgしか燃しようされなかつたので少し助かたと思ひました。しかし、原爆が太陽の表面の温度を超えて7000℃になることはとてまびくりしました。今の技術では、ウランを1kg以上燃しようする原爆が作れると思うので、もしも、ミサイルや、ロケットに積んで発射されたら怖いなど思ひました。今の技術を利用してウランを燃しようさせるとしたら、何kg燃しようさせられるかを調べてみたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回のお話を聞いて、原爆の実体犠
 者「義三」さんの辛さ、優しさがよ
 く分かりました。また、原爆は元々恐
 いものだと思います。といったけれど、も、と
 恐くおそろしいものというこも分
 かりました。義三さんの班は、原爆にあっ
 たのに、けがが無かったのは本当の
 奇跡だと思います。広島に落とされた原
 爆での被爆者数24万人、死者数
 14万人。そして、死亡率40%。これ
 らの数字が原爆のおそろしさを表し
 ていると思います。ほくは、原爆がある
 のは戦争があるからだと思います。たか
 ら、世界中で戦争を無くし、平和な
 世の中にしていきたいことが大切だと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、この授業を受けて、改めて戦争は絶対にしたくないと思いました。理由はいくつかあります。1つは、身内や友だちを戦争でなくしたくないからです。身内や友だちの被爆した女性などは見たくありません。

2つ目は、この話であった死体よりでも死んだ人の顔を見るだけでももうらいのにやけどをしていて皮肉をさわれると切れてウミのようなものが出てくる死体を背おって運ぶなんて、やれといわれてもできません。

3つ目は授業の途中で裸爆した女性の写真が出てきたとき、こわくてうなりました。ぼくは、すごくこわかったです。でも池田義三さんはこれを見て「きれいすぎる」と言ったのが印象に残りました。

このような戦争をもう絶対にしたくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、いままで原爆のことは大体しか分かってなかったけど、こんなにもひどく残酷なものでないと思いませんでした。リトルボーイ一発で広島市民の半数以上の人々が被爆し、被爆者のまた半数以上の人達が亡くなった、という地獄のような事は、もう二度とくり返してはならない、と強く思いました。

また、いままで私は戦争とかの授業をうけても「自分には関係ないしこゆからせめて戦争なんか起きない」と思っていて、ずっと他人事でしたが、原爆先生の話は、実際にその場にいるように思えるような感じで恐怖や生々しさがすごく伝わり、そして、今まで他人事で授業も上の空だった事がとても恥づかしくなりました。私はこゆから大人にならないうちに戦争のおそろしさを伝え、もう二度とこんなことが無いようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

自分は、原爆先生の授業を受けて思った
ことが、一つあります。

それは、原爆がどれだけおそろしい事が
改めて思いました。また、技術が未熟な時
代にアメリカはおそろしい核兵器を製作し、そ
れをとら下すとは、すごいと思った。だけれどもそのせ
いで、たいへん悲しくひさんなことになってしまいました。
また、今世界の国々では、当時の原爆およそ
約1000倍ものいかもある核兵器を持って
いるから、日本いかりの国も、ひ爆する可能性がかなり大変
だと思いました。

今回の授業で戦争を二度とやては、いけない
ことがわかりました。

今回は、おこしいいただきありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の話を聞いて私はトラックにけがをしている人を乗せようと手を握るとやけどした皮ふがはがれてしまう。という言葉がとても印象に残りました。もし私だったら、急に大けがをしている人たちを見て動揺してしまい、まず手を差しのべることをしなかったかもしれません。また原爆ドームでもやけどを負った女性に似せた像の写真を見た時はこんな人が本当にいたのかと驚きを隠せませんでした。祖母に話を聞くと、軍港があったので原子爆弾投下都市の条件以外にもねらわれたのではないかと聞いていました。このように原爆は60年たった今でも平和記念公園や原爆ドームがあり、今回の原爆先生ということでも私も勉強したことが沢山ありました。この勉強を忘れず生きていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆については、本サマシが通して来られていたって思った
けれど実際に授業で聞いてみると、想像では違っていた
ほど恐ろしいものかと思いましたが、ひどい被害が出た
のだから600mは意外と近かったのかなど思ったりしまし
た。けれどもテレビで入りに身ぶりを見た時、600m
がいかにも高いか分からず、こんなに恐ろしい力を持っている
原爆が、もっと近くで爆発したように改良された
らどうなってしまうのか、想像できませんでした。今世界は
世界(地球)を滅ぼせると聞いたりすることがあります。
なぜこんな事をするのか、戦争をしてしまうのか分かりません
が、一つだけ分かる事があります。戦争は国益と国益
の争いであり、それによる怖ろしいものはとても高いという
事である。日本には憲法がありそれによって法りつが
作られていまして、その憲法が変わり、戦争が行われる
ような世の中になったら、勝っても日本をなくして
いかれれば日本は終ると思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、広島に原爆が落とされひどい被害にあつたことを社会の授業で知っていました。また、原爆先生のお話を聞き改めたひどいことだと感じました。このようなことが起きないでほしいと思えました。私は原爆がとてつもなく熱かつたということをはじめで知りました。とてつもなく印象に残つたのはトラットの後ろに乗ろうとしてもひんがサけて助けたくても助けてくれないという場面です。とてつもなく想像どおしく心が痛み聞いていても痛さで助けたくても助けられない苦痛が伝わってくるほどでした。私は兵隊さんのように助けられるような人なのかと自分で考えてみました。しかし私は自分が生きてることだけが安心してしまうような人だと思いました。私はこの話で、これから私に必要なことが分かりました。一つはどんな状況でも自分だけでなく他の人のことを考えることです。もう一つは最初にも書いた通り、このようなことが起きないように私に小さな力でもしなくてはならない力があるのをなくしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて話を聞きながら
考えました。もし今原爆先生が話している事がおこつた
らと、もうたまりません。原爆先生が話の前半で
ぼくらとおどかした伊介は、とてもびっくりしました。
でもこれが本当の音だったらどんなにびっくりする
か、想像できません。さらに衝撃波と熱線
では、太陽より1000℃熱い、ぼくだん(7000℃)が
地上から600m(スカイツリーより少し低いぐらいの高さ)
の所に来て、地上は3000℃という。その衝撃波と熱線
に人が当たると体の水分が蒸発し、影だけがそのまま
残され、あとは消えるという。それを考えただけ
でゾクゾクとします。さらに、最後の原爆先生のお
父さんの言葉、本当に感動しました。
原爆先生、お話しありがとうございました。